

世界に羽ばたく
科学系人材の育成!

小松SSHだより

石川県立小松高等学校

第8号 H25年1月
編集 : SSH推進委員会
発行責任者 : 西 清人

平成24年度 SSH研究発表会

1月25日(金)、本年度のSSH研究発表会を開催しました。今回は学校設定科目「総合科学(理数科1年)」「理数数学(理数科2年)」の公開授業、研究協議会、課題研究ポスターセッション(理数科2年)、特別講演会を行いました。県内外の大学、高校及び近隣の小中学校など多くの方々にご参加いただき、有意義な1日となりました。

公開授業

理数科1年では「総合科学」、理数科2年では「理数数学」の公開授業が行われました。「総合科学」は保健分野で、テーマの「現代社会と健康」のうち、今回は精神面の健康に着目した「最強プラス思考の作り方」についての授業が行われました。「理数数学」では「曲線で囲まれた図形の面積」、「定積分と和の極限」の授業が行われました。



「総合科学」
の公開授業



「理数数学」
の公開授業



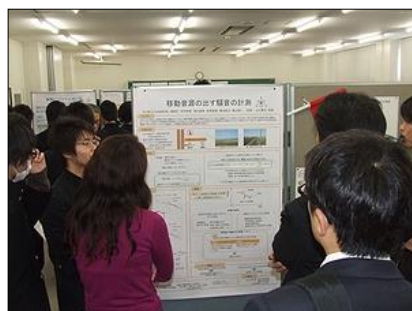
研究協議会

研究協議会では、今年度の本校のSSH研究の経過説明のあと、小・中学校との連携の取り組み、生徒のコミュニケーション、ディベート能力を高める指導についての意見交換が行われました。



課題探究ポスターセッション

理数科2年生(10班)の課題探究グループがそれぞれブースを設けて、ポスターセッションを行いました。研究発表会に参加していただいた県内外の大学や高校の先生方から、より専門性の高い質問や、よりよい研究のためのアドバイスをいただき、充実したポスターセッションとなりました。



特別講演会

東北大学大学院生命科学研究所の渡辺正夫教授に、理数科1年生を対象とした特別講演「高等植物における生殖・受粉反応…自家不和合性・受精・品種改良…」をしていただきました。生徒たちは、強い子孫を残すための植物の戦略について活発に議論しながら学びました。

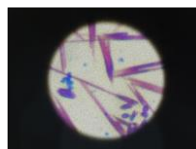


「ときめき理数科学」特別実習 一薬学部研修一

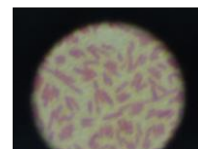
1月30日（水）、理数科1年生40名が、北陸大学薬学部にて「ときめき理数科学」特別実習を行いました。テーマは「細菌を見てみよう！」で、北陸大学薬学部 生命薬学講座 生体防御薬学分野の村山次哉教授に指導していただきました。

ヒトの皮膚や粘膜上には多種多様な微生物が生息しています。このような細菌の集団を常在細菌叢（じょうざいさいきんそう）と呼びます。通常、常在菌は健康なヒトに対しては感染症を起こしにくいのですが、抵抗力が低下したヒトに対しては種々の感染症を引き起こします。これを日和見感染症といいます。

今回の実習は、健康なヒトから分離した常在菌を染色し、その形や大きさに注意しながら、実際に自分の目で見ることを目的に行われました。



常在菌



大腸菌
(比較用)

日本数学オリンピック 予選

1月14日（月・祝）、石川県文教会館にて日本数学オリンピックの第1次予選がおこなわれました。本校からは、今年度は1年生11名、2年生5名が参加し、難問に挑戦しました。残念ながら、本戦出場は果たせませんでしたが、参加者は昨年より6名増となりました。

平成24年度最終号のSSHだよりとなりました。生徒のみなさんは放課後も残って研究をしたり、研修や実習のレポートを仕上げたり、よく頑張ってくれました。SSHの事業をおこなう上では、本校の先生のみならず、大学の先生方や研究機関の先生方、他校の先生方や企業の方々など地域の方々にも大変お世話になっています。生徒のみなさんは恵まれた環境の中で研究や学習活動が行えることに感謝しつつ、来年度もがんばって毎日の予復習に、SSHの活動に取り組んで欲しいと思います。